【　目　次　】

１　適用する工種・確認項目

２　使用機器と仕様

３　実施方法

１　適用する工種・確認項目

１－１　適用の範囲（例）

　　　　本工事では、「都営住宅建設事業の建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）」の適

用の範囲のうち、以下に示す範囲について適用する。

　　　　【適用の範囲例】

　　　　　凡例　　　：適用　　　：未適用

その他

立会い

監督員

検査

工事材料の検査

工事材料の検査

施工状況の確認

１－２　適用工種（例）

1. 工事材料の検査

　　例（建築工事）鉄筋（種類、鉄筋径、長さ）、生コンクリート等

（機械工事）配管、衛生設備（便器・洗面器）、換気扇（型番、数量）等

（電気工事）配管、電線、ケーブル、分電盤等

1. 立会い

　　例（建築工事）試験杭（詳細は、以下の通り）

（機械工事）給水管水圧試験（詳細は、以下の通り）

　　　　　　（電気工事）防火区画耐火処理確認（詳細は、以下の通り）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **種別** | **細別** | **確認時期**  | **確認項目** | **確認の頻度** |
| 建築 | 試験杭 | 施工時 | 位置、支持地盤、掘削状況確認 | 適宜 |
| 機械 | 給水管水圧試験等 | 配管敷設後 | 圧力計数値確認、外観 | 箇所、各1回 |
| 電気 | 防火区画耐火処理 | 施工時 | 施工状況 | 適宜 |

（３）その他

・打合せ及び施工の調整会議、事故などの報告等において、必要に応じて使用する。

２　使用機器と仕様（例）

２－１　使用機器

　　　　本工事では、以下の機器を使用する。

|  |  |
| --- | --- |
| **使用機器等** | **製品名・アプリ名** |
| **（撮影）** |   |
| **撮影用タブレット** | iPad |
| **撮影用スマートフォン** | iPhone |
| **（配信）** |   |
| **配信用アプリ** | Teams |

２－２　使用機器の仕様

　　　　使用機器の仕様は、以下の通りである。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　**項目** | **実施要領（案）** | **使用機器の仕様** |
| **（撮影）** |  |  |
| **映像** | **画素数** | **1920×1080以上※１** | **1280×720** |
| **フレームレート** | **30fps以上※１** | **30fps** |
| **音声** | **マイク** | **モノラル(１チャンネル)以上** | **モノラル(１チャンネル)** |
| **スピーカー** | **モノラル(１チャンネル)以上** | **モノラル(１チャンネル)** |
| **（配信）** |  |  |
| **映像・音声** | **転送レート(ＶＢＲ)** | **平均9Mbps以上※２** | **10～12Ｍbps程度** |

※１　通信環境及び映像による目的物の判別が可能であることを勘案して、受発注者協議の上、

画素数は640×480まで、フレームレートは15fpsまで落とすことができる。

※２　映像と音声の「配信」に関する仕様に対して、適切な転送レート（平均1Mbps以上）とできる。

３　実施方法（例）

３－１　「工事材料の検査」及び「立会い」の実施方法

（１）事前準備

・遠隔臨場の実施に先立ち、実施時間、実施箇所（場所）や必要とする資料等について、週間工

程表等を活用して事前調整を行う。

・実施に当たり、事前に監督員との双方向通信の状況について確認を行う。

（２）撮影の実施

・監督員から撮影箇所や撮影方法等について指示があった場合は、調整を行う。

（３）実施後

・遠隔臨場を実施した場合は、作業日報等に実施内容を記録する。

　　　 (例)　排水管満水試験の監督員による臨場を遠隔臨場にて実施した。

３－２　「その他」の実施方法

（１）事前準備

・遠隔臨場の実施に先立ち、実施時間、実施箇所（場所）や必要とする資料等について、週間

工程表等を活用して事前調整を行う。

・実施に当たり、事前に監督員との双方向通信の状況について確認を行う。

※なお、事故報告等緊急の場合は、事前調整を省略する。

（２）撮影の実施

・監督員から撮影箇所や撮影方法等について指示があった場合は、調整を行う。

（３）実施後

・遠隔臨場を実施した場合は、作業日報等に実施内容を記録する。

　　　 (例)　監督員との工事調整の打合せを遠隔臨場にて実施した。